

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年11月17日

計画の名称	三朝町における安全で安心な住環境の整備（地域住宅計画）												
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	三朝町												
計画の目標	町内に存する危険物等の倒壊による近隣住宅及び道路への危険防止のために、危険建物（空き家等）の除却を推進し、安全で安心できる住みやすいまちを確保する。 既存ストックを有効活用し計画的な改修をすすめ住環境の整備を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	145	A	139	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	4.13	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）  定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(H31末)	(H33末)
1	除却を推進すべき区域内の危険な空き家等の除却戸数 除却を推進すべき区域内の危険な空き家等の戸数を除却状況に基づき算出 区域内の危険な空き家等の戸数（戸）＝町が把握している危険な空き家等の戸数（戸）－除却した危険な空き家等の戸数（戸）	25戸	戸	10戸
2	町営住宅のバリアフリー化の割合 町営住宅のうちバリアフリー住宅の割合 〔バリアフリー化された町営住宅〕 / 〔町営住宅の戸数〕	5%	%	30%
3	既存ストックの長寿命化及び居住性の向上を図る 既存ストックの長寿命化及び居住性の向上を図る 〔長寿命化改善事業を実施した戸数〕 / 〔町営住宅の戸数〕	0%	%	23%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	三朝町	間接	個人	-	-	地域住宅計画に基づく事業(住宅地区改良事業等)	空き家再生等推進事業	三朝町	■	■	■	■	■	9	-	-		
	A15-002	住宅	一般	三朝町	直接	三朝町	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等ストック総合改善事業)	長寿命化計画策定事業	三朝町		■	■			6	-	-		
	A15-003	住宅	一般	三朝町	直接	三朝町	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等ストック総合改善事業)	長寿命化改善事業(森、天神、徳本、特定公共賃貸住宅)	三朝町			■	■	■	124		策定済		
											小計						139				
											合計						139				

c 効果促進事業																										
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況							
												H29	H30	H31	R02	R03										
		一体的に実施することにより期待される効果																								
		備考																								
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	三朝町	直接	三朝町	-	-	公営住宅整備関連事業	設計管理	三朝町						6	-	策定済							
		公営住宅ストック総合改善事業を補完し居住環境の改善を図る																								
											小計						6									
											合計						6									

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業担当課にて実施

事後評価の実施時期

令和4年11月

公表の方法

三朝町ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・既存ストックの長寿命化改善事業により、住宅の断熱性、気密性を高め省エネ性能と居住性の向上が図られた。
- ・特定空き家の除却を促進し、住環境の改善が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・既存ストックを有効活用できるように順次改修工事を実施する。特定空き家の除却については、「空き家対策総合支援事業補助金」を活用し引き続き除却を促進する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	10戸	補助金を活用し、不良住宅の除却を進め、概ね計画通りの事業進捗となった。
	最終実績値	11戸	
空き家等の除却を推進すべき区域内の特定空き家等の戸数			
2	最終目標値	30%	長寿命化改善を優先的に実施した結果、バリアフリー化の整備進捗が当初計画より遅れたため。
	最終実績値	23%	
町営住宅のバリアフリーの割合			
3	最終目標値	23%	計画当初より改修工事を実施することができた。
	最終実績値	26%	
既存ストックの長寿命化型改善実施率			

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）

計画の名称	三朝町における安全で安心な住環境の整備（地域住宅計画）		
計画の期間	平成 29 年度～平成 33 年度（5 年間）	交付対象	三朝町

